

さんぽみち

第21号

発行:岡山協立病院緩和ケア病棟
文責:桑原和美(病棟師長)
発行日:2016.8.25
岡山市中区赤坂本町8-10



「あじさい音楽祭」

恒例のあじさい音楽祭。
今年は「デジタルホン」という
楽器の演奏で懐かしい歌を楽しみました。
ティーサービスの水ようかんも好評でした。



「ギター演奏会」

プロギタリストの方による
演奏会がありました。
美しい調べに、みんなでうっと
り聞き入りました。



今年の夏も猛暑日が続きましたね。
「さんぽみち」の発行が遅れ、ご無沙汰しておりましたが
皆さまいかがお過ごしですか。
緩和ケア病棟では、梅雨には音楽祭・夏は七夕祭り・花火大会と
いろいろなイベントを通して夏を楽しみました。



「花火大会」



病室からも
花火がきれいに
見えました。



「七夕まつり」

みんながそれぞれ
短冊に願いを書きました。



デザートゼリーのも
美味しく
いただきました。



職員紹介「福田医師」

内科医・他の病院での緩和ケア病棟勤務などを経て、ご縁があって5年前の緩和ケア病棟オープンの時から働いています。



私が医師になって間もなかった約20年前は、まだまだ緩和ケアが広まっていなかった時代で、苦しむ患者さんを前に、もっとできたことがあったのではないかなと思うこともしばしばでしたが、実際は、がんによる痛みなどのしんどい症状は、多くの場合はとることができます。

患者さんができるだけご自分らしく安心して過ごしていただけるよう病棟にたずさわる他のスタッフと力を合わせて、これからも頑張っていきたいと思っています。

Q

緩和ケア病棟と一般病棟では
スタッフの配置などに
違いがあるの？



A
緩和ケア病棟でも看護師の配置は
7対1で一般病棟の配置と同じです。

当院の緩和ケア病棟では、

認定看護師2名

緩和ケアを専門とする医師2名

心療科医師1名

リハビリスタッフ2名

薬剤師1名

管理栄養士1名

臨床心理士1名

チームとして活動しています。

病院に入院していても

患者様、お一人おひとりが

その人らしく過ごせるよう

ボランティアスタッフによる

ティータムや季節のイベント

牧師さんなどによるパストラルケアなどに
取り組んでいます。



(木村)

口内炎がある時の食事の工夫

治療の影響などで口内炎がある時は、口腔内の乾燥を防いだり
痛みを感じにくい食事の工夫をすることで、食事が食べやすくなります。

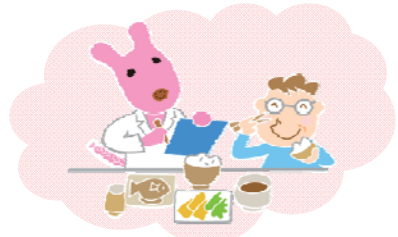
- ①辛味、酸味、塩味の濃いものは避けましょう。
- ②熱いものは避け、食事の温度は人肌程度に冷ましてから食べましょう。
- ③軟らかく、水分の多い食べ物を選びましょう。

パサパサした食品は飲み込みにくいだけでなく、粘膜を傷つける事があるため
軟らかく、水分の多い食事がおすすめです。また、とろみをつけたり、あんで
包むと口当たりがよく、食べやすくなります。



★おすすめの食べ物★

お粥、雑炊、にゅうめん、フレンチトースト、冷奴
茶碗蒸し、温泉卵、すりおろしりんご、バナナ
ヨーグルト、ゼリー、プリンなど



(栄養士：小坂)

緩和ケア病棟に入院を希望される方がおられたら
まずは病棟の直通電話か相談室へご連絡ください。
担当者がいない場合は、折り返し連絡をさせていただきます。

- ①看護師がお話を伺い、緩和ケア外来（毎週火・金の午後、水・金の午前）を予約します。
 - ②外来受診までに、現在かかりつけの病院で紹介状を書いてもらい、FAXしていただきます。
- 外来受診時に、病棟の見学もしていただけます。

病棟直通電話：086(899)6006
遠慮なくご相談下さい。

「虹の会」のお知らせ



緩和ケア病棟へ入院された
患者様のご遺族の会です。

次回開催：9月10日(土)
10時30分～
場所：コムコム2階休憩室